

むかしあそび研究会だより

No.3 (2017年8月号)

発行責任者：会長 大澤貞男

◆ 6月～7月は、グループ<わ>設立 20周年記念行事に参加するとともに、「しあわせの村まつり」など8回のボランティア活動と2回の道具づくり・研修会（会員対象）を行いました。

グループ<わ>設立 20周年記念行事に参加

～～ ふれあいホールで大パノラマパネルを展示 ～～

KSC ふれあいホールで行われた「会員・市民ふれあい広場（7月18日～23日）」にむかしあそび研究会も参加。「こどもが笑い遊ぶ KOBE ワンダーランド」と銘打って、海あり山あり、そしてこどもたちの笑顔があふれる神戸の街をテーマに、折紙で作った動物や花、こどもたちとの遊びに使う毛糸やおはじきも活用して楽しさあふれる大パノラマパネルを制作、展示しました。

卒業生と在校生（こども文化会員）が一緒に活動するのが、むかしあそび研究会の特徴の一つ。今年卒業した 21 期生とこども文化の有志が中心となってパネルを制作。制作チームのリーダー木田よしのさん（園芸 21 期）の感想です。

『ゴールデンウィーク明けに最初の打合せ。直ぐに海、山がある神戸に動物ランドをと決定。パネル 5 枚分 模造紙 6 枚の大きさ。出来るのかな？と不安がいっぱい！

絵心のある方が大きな紙に下絵を描いて皆で色塗り。絵心の無い者が色を塗ると幼稚園児の絵。「ゴメンね」。

延べ時間にして 16 時間。15 名全員が自分の出来るところで頑張りました。見出しも出来上がり完成。「ヤッター！」久々の感動。

会長からは「自由な発想で。思いがけないものでもいいですよ」と言って頂いていたので、何の制約もなく思いっきり遊ばせていただきました。こんな機会に巡り会えたことに感謝。「しんどかったけれど楽しかった！」とても幸せな気分です。先輩方にも動物



や花の折り紙を提供して頂きました。動物は難しいのでとても助かりました。そして会長にも朝の 9 時からという時もずっと見守ってくださってありがとうございました。』

～～いきいき文化祭で折り染め講習会 ～～

7月23日(日)のいきいき文化祭では、「折り染めうちわ作り」講習会を開催しました。

この「折り染めうちわ作り」は、グループ<わ>主催の「夏休み工作塾」でも毎年行っており、参加された方々からは人気の講習会です。

しかし、この日は事前PRが足りなかったのか午前中は出足不調。来場者に交じって折り染め初体験の会員も受講者となり先輩会員から手ほどきを受けて学習しました。

午後は来場者も増え、会場の活気にあわせて講師陣にいつもの笑顔が見られるようになりました。また、折り染めクラブを創設された1期生の大先輩もお見えになり、むかしあそび研究会が引き継いだ「折り染め」の盛況さに喜んでおられました。

< 折り染めうちわの制作工程 >

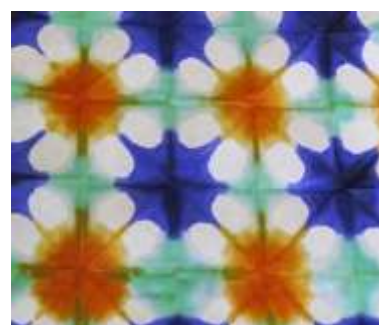
【 工程1：折り染め 】



① 和紙を折って輪ゴムで止め



② 好みの染料で色付けし



③ 広げて乾かせば完成

【 工程2：うちわ作り 】



① うちわの枠に合わせて型どり



② 糊付けた枠に貼り付け



③ 余分な部分を切って完成

30分程で世界に一つだけのうちわが完成。見事な出来栄えに思わずニコリ。とても喜んでいただきました。

この日の来場者は45人。皆さんそれぞれに素敵なオリジナルうちわを制作されました。

